

## 当面の需給状況について

当社は、原子力発電所の運転停止が継続する中、電力の安定供給確保に向けて需給両面からの対策に取り組んでいるところです。

現時点では、志賀原子力発電所の再稼働時期を見通すことができない状況ではありますが、原子力発電所の停止が継続した場合の当面の需給バランスを試算した結果は以下のとおりになります。

その結果、当面は電力供給に支障がない水準の予備率を確保できる見通しとなりますが、気温影響による電力需要の増加などを考慮すると、厳しい需給状況になります。

お客さまには、引き続き生活や経済活動に支障のない範囲での節電にご協力をお願い申し上げます。

なお、本日、経済産業大臣に届出した平成25年度供給計画においては、現時点で原子力発電所の再稼働時期を見通すことができないことから、供給力は未定といたしました。

### 1. 当面の需給バランス（発電端，原子力停止継続）

H25年度供給計画における需要（最大三日平均）の場合 [単位：万kW，%]

	4月	5月	6月
供給力	447	434	494
最大電力	405	378	434
供給予備力	42	56	60
供給予備率	10.3	14.8	13.9

節電による需要減少を織り込み（4～6月：13万kW）

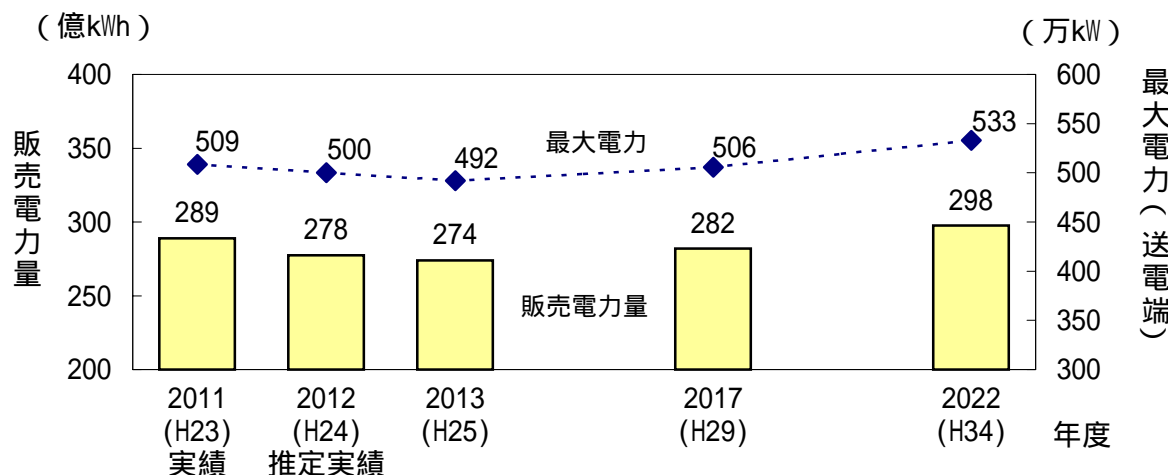
過去最大電力（一日最大）の場合 [単位：万kW，%]

	4月	5月	6月
供給力	450	436	497
最大電力	445 (432)	415 (402)	479 (466)
供給予備力	4 (17)	22 (35)	18 (31)
供給予備率	1.0 (4.0)	5.2 (8.6)	3.7 (6.6)

供給力には火力発電所の増出力を織り込み  
（ ）は節電による需要減少を考慮した場合の値

### 2. 販売電力量と最大電力の見通し（平成25年度供給計画）

- ・2011(H23)～2022(H34)年度の年平均で販売電力量は0.4%、最大電力は0.7%の伸びを想定
- ・節電効果は今後も定着分が継続するものと想定（販売電力量 4億kWh、最大電力 27万kW）



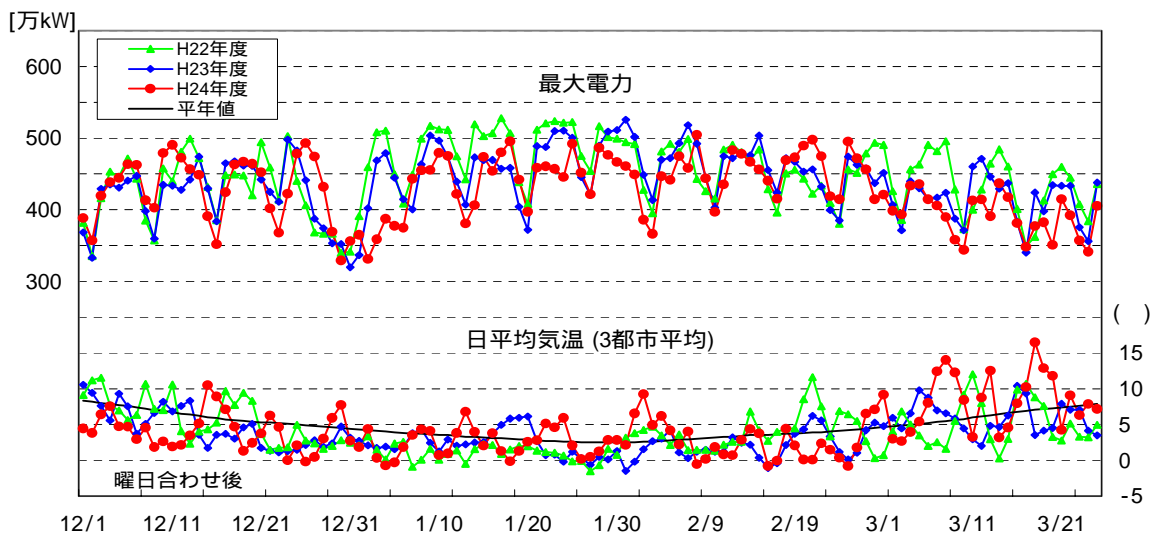
## 今冬の電力需給実績について

### 1. 今冬の電力需給バランス(発電端)

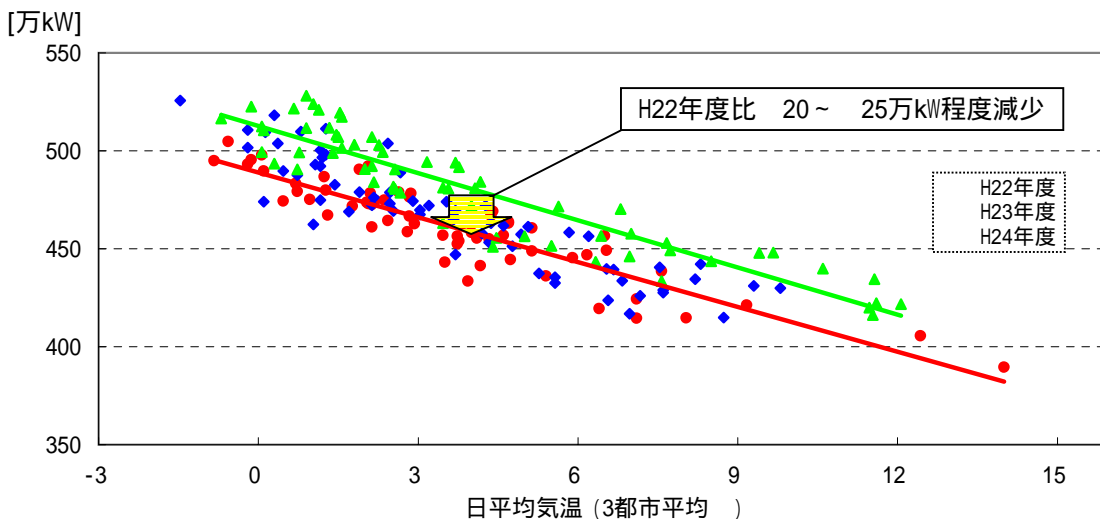
	厳冬時の想定(H23年度並)		今冬の実績	
	1月	2月	最大電力発生日(2/8)	予備率最小日(12/11)( 2)
供給力	557万kW	562万kW	555万kW	518万kW
最大電力( 1)	519万kW	519万kW	505万kW	491万kW
予備力	38万kW	43万kW	50万kW	28万kW
予備率	7.3%	8.3%	10.0%	5.6%
使用率	93%	92%	91%	95%

- 1 想定には、節電影響による需要減( 18万kW)および厳寒による需要増(+ 11万kW)を織込み
- 2 富山新港火力発電所2号機(50万kW)および同石炭1号機(20万kW)の定期点検期間中に気温が低下したことにより需要が増加したため、低い予備力となったもの

### 2. 最大電力と気温の推移



### 3. 過年度との最大電力比較(12月～3月上旬までの比較)



### 4. 過年度との気温比較(富山・金沢・福井の3都市平均)

	実績				H24年度 - 過年度比較		
	H24年度	H23年度	H22年度	平年値	H23年度比	H22年度比	平年比
12月	4.1	4.9	6.6	6.1	0.8	2.4	2.0
1月	2.5	2.4	1.2	3.2	0.0	1.3	0.7
2月	2.7	1.9	4.0	3.4	0.8	1.3	0.7
3月	8.2	6.6	5.2	6.7	1.7	3.0	1.6
期間平均	4.2	4.0	4.2	4.9	0.2	0.0	0.7

3月は3月25日までの実績